

県立高等学校再編将来構想策定時の意見・提案（2021年4月～11月）

- 県立高等学校再編構想を策定するに当たり、各県立高等学校長、市町村・地域の関係者へのヒアリングを実施し、今後の中長期的な県立高等学校の魅力化、特色化、再編に関する取組の方向について、様々な意見や提案をいただいた。
- その主な意見や提案は以下のとおり。

項目	主な意見・提案
1 中学生向けの高校の魅力発信に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業に委託して、中学生や保護者向けの説明会を実施する。 ○ 動画やSNSなどを活用して魅力を発信する。 ○ 地元の小中学校や地域との交流を深め、専門学科の魅力を伝える。
2 再編に関する基本的な方向性に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の多様なニーズに対応して様々なタイプの学校を設置する。 ○ 学び直しができる学校を設置する。 ○ すべての授業を英語で行うなど、中学生にとって魅力ある学校づくりを目指す。 ○ 地区の学校数を調整して、複数学科を併設した大規模校を創設する。 ○ 複数校をキャンパス化して、2、3年次は、生徒の希望に応じて学べる学校を選択できるようにする。 ○ 交通至便地の学校を大規模化する。 ○ 学校数が多い都市部や、人口急増期に新設した学校を統合する。 ○ 山間部や半島地域の学校は、ICTで結び、サテライト化する。
3 学校間の連携教育に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立高校の強みは、学校数の多さと高校同士の連携であることから、各校の資源を共有する。 ○ 地区で連携して、各校の特色ある授業や講座を、オンラインで共有する。 ○ 学校の枠を超えて科目選択をできるようにする。 ○ 他校の特色ある授業が受けられるようにして、年間を通した出席で単位認定する。 ○ 職業高校を地域のキャリア教育（就職指導）の拠点として、連携する高校の就職を希望する生徒を通学させる。 ○ 生徒数の減少が著しい地域では、グループ化して、教職員や部活動などを一体化する。
4 地域や企業、大学・専門学校との連携に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニティスクールや協議会を設置する。 ○ 同一地域にある複数の学校で、包括的なコミュニティスクールを設置する。 ○ 地域と連携したプロジェクトやコンソーシアムを構築する。 ○ 企業による運営や寄付などにより教育内容を充実する。 ○ 複数の大学とスケールの大きい連携を行う。
5 小・中・高連携教育に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国内外の大学や企業、行政機関と連携した研究に、生徒が取り組むことができる、県立中高一貫校を設置する。 ○ 特色が打ち出しにくい中堅の普通科高校を、中高一貫校にする。 ○ 地域の小中一貫校に高校を併合して新たな学校を設置する。 ○ 山間部や半島部の高校を、中高一貫校にする。 ○ 小中高大、企業まで一貫した学びを構築する。
6 定時制、通信制、全日制単位制に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昼間定時制や全日制単位制を、さらに複数設置する。 ○ 県内各地に、小規模の昼間定時制を設置する。 ○ 昼間定時制と夜間定時制を統合して、不登校生徒や外国人生徒の学びの場を設置する。 ○ 独立した校舎をもつ通信制高校を設置する。 ○ 通学しやすい場所へ通信制サテライトを設置する。 ○ 外国にルーツのある生徒に日本語学習ができる機会を提供する。

その他、少人数教育の導入や特別な支援を必要とする生徒への対応、施設設備の充実や人材の確保、生徒募集計画や入試制度に関する事など、様々な御意見等をいただいた。